

# ソフトウェア品質保証 責任者の会

## 第3期 第3回会合次第

**2014年12月18日(木) 19:30~21:00**  
**ソフトウェア品質保証責任者の会準備委員会**

# 本日の内容

- **19:30～19:40**                      **オリエンテーション**  
    **(乾杯)**  
    **本日の流れ**  
    **アンケート結果**  
    **日科技連からのお知らせ**
  
- **19:40～20:40**    **第3期活動内容レビュー**  
    **活動テーマ**
  - 人財育成
  - 身の丈プロセス**レビュー観点**
  - 活動内容妥当性 (テーマ合致性)
    - 活動テーマ、活動内容、成果物など
  - 実現可能性 (スケジュール妥当性)
    - 活動負荷、メンバーへの負荷分散度合と偏り など    (ですが、堅い話はそこそこに、呑みながら楽しく活動できるように話し合おうと思います。)

**\* 終了後に懇親会 (自由参加) を実施します。**

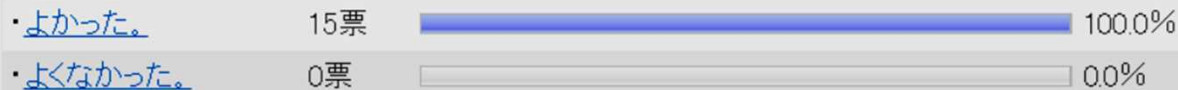
# アンケート結果(1)

アンケートの回答ありがとうございました  
(2014年12月18日 12:00 現在 回答15名)

回答合計: 15

問1

責任者の会の第2期はテーマを設定し成果を求める活動でした。  
第2期に参加していかがでしたか? ※必須



問8

第3期はメンバーの事例紹介を企画検討しております。  
事例発表を希望されますか?

(ご希望される場合は、お手数ですがアンケートのコメント機能にてお名前をお知らせくだされば幸いです)

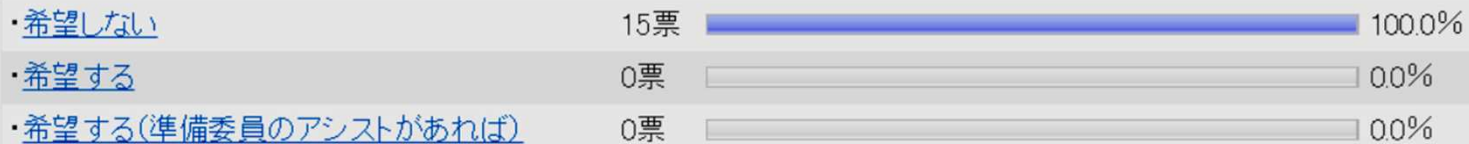
:回答 ※必須



# アンケート結果(2)

問7

活動グループのリーダー役を希望されますか？※必須

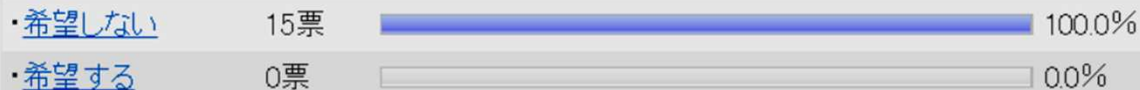


問9

運営スタッフ(準備委員会)へのご参画を希望されますか？

(ご希望される場合は、お手数ですがアンケートのコメント機能にてお名前をお知らせくだされば幸いです)

:回答※必須



# アンケート結果(3)

## 問2：問1の理由

- 議論のテーマを集中して進めることができたと考えます.但し,その中で発散したということに対して,いろいろな分野での品質に対する考え方がわかった
- 身の丈プロセスを検討する中でありたいプロセスの姿を目標にして有効性を優先して段階で敵に階段を上がっていく現実的な考え方を確認できた。
- 発表出来て成果が形になったから。成果はどんどん出して行きたいです。
- テーマを持って進めたのは良かったと思います。ただ、十分に議論ができたのかどうかわかりません。
- 皆様のご苦勞もよく分かったし、一つの成果を作り上げられたという達成感も得られました。もっと深掘りしたいと思いました。
- 日科技連の多くの先人から講義をいただき、大変ためになった。参加されている皆様との議論で、自分の考えを整理することができた。
- テーマと関連する講演により、知識の幅を広めることができたから。
- 会合にはでていないですが、活動成果報告に向けて、データ整理や検討などの活動に発展できた点は、評価に値すると思います。(会合に出席できず、すみません。)
- 第2期に参加しておりません。

# アンケート結果(4)

## 問3：責任者の会の活動へのご提案（改善案、企画案）

- 参加者の幅が広いので、それぞれの目的に沿えるような工夫があればと思います。  
目的は
  - ・参加者全員の(レベルアップ)
  - ・最先端のテスト/品質保証のアイデア探索?⇒一部になるか。
- 色々な産業の方の品質についての意見をお伺いしたいです
- 今のところアイデアがありません。
- 今さら聞けない基礎的な勉強会、と銘打って各社実例など持ち寄って深掘りできると良いかも知れません(すでにそのレベルは超えた「責任者」なのだから、という話もあるのでしょうけど、敷居を高く感じる方もいるかな、と思いましたので。。。あ、自分もですけど)
- 参加されている方の企業内での活動事例の紹介と討論。差し障りのない範囲で。
- ありません。
- 著名な方の発表が聞けるのは、非常に有意義です。今後も続けて頂くことをお願いいたします。
- 特にございません。
- 前期はあまり参加できなかつたので、今期はなるべく欠席しないようにします。その上で改善案など提案できたらと思います。
- みなさんご多用の方々なので、私の個人的事情を理由にはできませんができれば平日の午後8時頃に解散できるとありがたいです。

# アンケート結果(5)

## 問4：責任者の会の運営へのご意見

- 特にありません。
- 今の運営方法で良いと考えています。月1程度で土曜日開催があってもいいかもしれません。
- 最初の数回のみで途中から参加できなくなり申し訳ありませんでした。
- 第2期同様、テーマに沿った講演と議論&深掘り、という形で良いように思います。
- ありません。
- いつも、苦勞されていると思います。少しでも役に立てればと考えております。
- 特にございませぬ。
- 運営スタッフの方々にはいつも感謝しております。ありがとうございます。
- とくにございませぬ。

# アンケート結果(6)

## 問10：その他ご意見

- 運営するのは大変だと思います。できるだけ出席するようにして協力して成果を共有できるようにしていきたいと思っています。
- 特にありません。
- 経験が浅いので、まだまだ勉強中といったところです。
- 当面、体調不良のため会合への参加はできないかもしれませんが、会は継続して参加したいです。
- 特にありません
- SQiPシンポジウムで発表させていただくなど、大変お世話になっています。これまでと同じく2回に1度程度しか参加できないと思いますが、よろしくお願いします。
- ありません。
- 宿口様を先頭にスタッフの方々にほとんど協力できず、すみません。時たまの会合参加になるかと思いますが、小生で協力できる場所は支援したいと考えております。今後ともよろしくお願いいたします。



# テーマ案

## アンケート結果（2014年12月18日 12:00現在）

テーマ名	得票
第2期継続（人財育成の深堀）	7
第2期継続（人財育成の別観点の活動）	6
第2期継続（身の丈プロセスの深堀）	6
第2期継続（身の丈プロセスの別観点の活動）	5
上記以外	3

### 提案テーマ：

- ・ 要求分析の段階からソフトウェア品質を意識した活動
- ・ 小規模,プロセス導入直後のソフトウェア品質保証の肝
- ・ 地に足がついたメトリクスを用いた品質管理手法  
「地に足がついた」の視点:
  - 1.現場視点で取得し甲斐のあるメトリクス
  - 2.経営視点で追い甲斐のあるメトリクス(=KMI、KPIに結び付くメトリクス)
- ・ 品質保証部門の価値(在り方、キャリアパス、部門の業務品質)

# 第3期活動内容レビュー

- **本日の進め方**  
**11月度活動の発表と公開レビュー**
- **レビュー観点**
  - 活動内容妥当性（テーマ合致性）**  
**活動テーマ、活動内容、成果物など**
  - 実現可能性（スケジュール妥当性）**  
**活動負荷、メンバーへの負荷分散度合と偏り など**





# 11月度の成果 (プロセス)

**下マ** 身の丈プロセスの深掘り

開発プロセス  
↑  
品質の観点で

手直し

Target 13 - 例

の明確化

**品質の観点で**

- ・ CMMi Level 1
- ・ 構成管理
- ・ 外注管理
- ・ 品質 (PPQM) (Process Product)

必須の物  
← 身の丈という見方

有効性  
適合性

2014/11/29  
プロセス  
遠藤 保坂  
武田 加洋

① 岩橋モデルの勉強で開発プロセスの理解

② 開発プロセス以外のプロセスを pick up. 仕分け

③ " " の中身を詰める。

④ 開発プロセスへの対応を考える

⑤ 身の丈という見方" ありはめる。

**今期の目標**

自社標準化 適用試行

12 1 2 3 4 5 6 7 8 9

① → ② → ③ → ④ → ⑤ → ⑥ → ⑦ → ⑧ → ⑨

50% 完了

# 参考：第2期での“今後の課題”

人財育成

## 7. 今後の取組み

### 「身の丈にあったプロセス」の構築

- ・コミュニティ活動として、さらなる論議の継続と深掘り  
本当に役に立つことを目指して刺激し合う。
- ・中小組織に適切な、簡単な品質保証プロセスの提案：「身の丈に合ったプロセス」  
有効性を保ったまま適合できるプロセスの探求

## まとめと今後の課題

### ■ まとめ

- ソフトウェア技術者の品質スキルは、知識の積み重ねだけに頼らず、「意識」の強化が重要と実感した
- 「意識」とは、「製品・サービス提供責任」と、その醸成に必要な、意欲・誇り・主体性と自律と我々は考えた
- その意識を強化するには、「①成功体験・感動体験」「②人を巻き込む経験」「③判断を任される」ことが必要と考えた

### ■ 今後の課題

- 考えた「意識の強化」の成功事例の積み重ね
- 心理学などの学問的な裏付け

2014/09/12

Software Quality Assurance Officers

17 

身の丈プロセス

2014/09/12

Software Quality Assurance Officers

24 

2014/12/18

Software Quality Assurance Officers

14

  
Software Quality Profession

# 例会予定

回数	候補日(水、金)	内容	
1	2014年10月31日	キックオフ	セミナー
2	2014年11月29日	土曜半日開催：テーマ選定	事例紹介
3	2014年12月18日	19:30開始 活動計画発表	忘年会
4	2015年 1月22日	部長の会メンバー来阪（予定）	成果発表
5	2015年 2月25日or27日		セミナー
6	2015年 3月25日or27日	（土曜開催の可能性）	事例紹介
7	2015年 4月22日or24日	（連休のため前倒し）	セミナー
8	2015年 5月27日or31日		事例紹介
9	2015年 6月24日or26日		セミナー
10	2015年 7月29日or31日	（土曜開催の可能性）	事例紹介

セミナー：講師によるセミナー

事例紹介：メンバーによる事例紹介

講師または発表メンバーの都合によりスケジュールを変更する場合があります。